

『庄内っこ日和』

令和3年7月21日

庄内こどもの杜幼稚園 教頭 岩崎巧

はじめに…

保護者の皆様いつも当幼稚園のまりのこっこにご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。

この『庄内っこ日和』は、令和元年度から掲示用として始めた、当学園の理念や方針と重ね合わせながら、園外保育での子どもたちや先生の様子を、皆様にお伝えする"ドキュメンテーション"です。

晴れたよい天気という意味もある日和という言葉は、庄内っこの未来を明るく照らしています。

このお便りを通して、日々の子ども達や先生の様子や当幼稚園の考えを少しでも知って頂けるきっかけとなれば幸いです。今回は、年少組まりのこっこ（夏）の様子をお伝えしたいと思います。

今回は、保育ボランティアに3名のお母さんがご参加下さいました。本当にありがとうございました。

今回のまりのこっこのねらい

- ・自然の中で、他児と一緒に水遊びを楽しむ。
- ・様々な生き物や自然物を発見し、他児や保育者に見せたり伝えたりして楽しむ。

当幼稚園の「まりの子っこ」とは、「鎮守の杜(もり)の子ども(つまり当学園の子ども)」が、「森の子ども」になるという意味です。

能勢にある野外センターや、能勢の田畑や川、自然豊かな公園には、庄内にはない決して人工的に作り出す事の出来ない自然が溢れています。

そこで子どもは、平常保育時以上に五感をフル活用しながら、四季ごとに活動する経験をします。それが、情操豊かな人間になる大事な活動であると思っております。(庄内の保育の根っこp37参照)

庄内の保育の根っこ



②はじめての川遊び

はじめての川遊び体験では、子どもたちは水の冷たさを感じたり、先生と水をかけあったりして楽しんでいました。

網で捕まえた生き物を、タライの中に入れ、観察する眼差しは、真剣そのもの。園庭では、見る事の出来ない、魚や幼虫、アメンボなど、子どもたちにとっては興味があるものが沢山でした。

引率のお母さんたちも全力で川遊びを楽しんで下さり、その気持ちが子どもたちに伝わっている様子もありました。

【大人が全力で楽しめる】と【子どもも全力で楽しめる】のではないかと思います。



まりのこっこ年少（夏）

①バスからワクワクが止まらない。



バスに乗っている時から、年少組の子どもたちは、わくわくしている様子。

行き道に大きな橋を見ると「あ、ツンツンや」と、その形に驚いたり、「信号はピッポパッポ（青の際の効果音）が鳴ったら渡るねんで」など、まわりの環境に興味津々な様子でした。

川に着くと、まずは山中先生と準備体操！



余野川親水公園で川遊び

③外で食べるおにぎりの味は格別。

川遊びの後は、ともだちや、先生と一緒ににおにぎりを外で食べました。春はまりのこっこに行けず、初めて外で食べるおにぎりの味は格別。子どもたちは嬉しそうにおにぎりの中の具材を見せてくれたり、ともだちと見せあったりしながら楽しんで食べていました。

自然の中では発見がいっぱい。子どもたちは、初めてのまりのこっこで沢山の物を得たと考えています。

【出来るようになる事。】も大切ですが、まず【物事に興味を持てる事】ができた一日だったと、感じています。

